

## 予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：森林整備費

## 事業名 【新】花粉の少ない森林への転換促進事業費交付金（R7国補正）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 整備係 電話番号：058-272-1111(内4385)

E-mail : c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 20,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補正要求額	20,000	20,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額	20,000	20,000	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県内のスギ人工林伐採重点区域は37,690haであり、花粉発生源となるスギ人工林の伐採・植替えを加速化するためには、森林所有者の意思に任せるだけではなく、森林経営計画が策定されておらず伐採が予定されていない森林においても伐採・植替えを促していくことが必要である。

## (2) 事業内容

- 「スギ人工林伐採重点区域」での森林経営計画における伐採・造林計画が策定されていない森林等において、林業経営体と立木販売等契約などを締結後に伐採・植替えを実施した森林所有者に対して、伐採・植替えに対する植替促進費（最大35万円/ha）を交付。
- 林業経営体が行う森林所有者へのスギ人工林等の植替え等に向けた働きかけに対して、植替活動金（12万円/ha）を支援。

### (3) 県負担・補助率の考え方

1) 補助率：定額

2) 補助額：

・林業経営体が行う森林所有者へのスギ人工林等の植替え等に向けた働きかけ

(植替活動金) 120千円/ha (国費10/10)

・伐採、植替え (植替促進費) 最大350千円/ha (国費10/10)

※スギ人工林伐採重点区域内での実施に限る。

※確実に林業経営体にその後の森林管理を実施させるため、「森林経営計画」

において花粉の少ない苗木等の植栽が計画されていること、及び施業に関する委託契約を必須とする。

### (4) 類似事業の有無 無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	20,000	植替活動金、植替促進費、事務費、予備費
合計	20,000	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

「第4期岐阜県森林づくり基本計画」第6章 第2 (2) (イ) 木材の安定供給と森林所有者への利益還元において、課題となっている木材の安定供給・生産性の向上に積極的に取り組む必要があるとしている。

### (2) 国・他県の状況

令和5年度より国から取りまとめ団体を経由し交付している事業が、令和8年度からは各都道府県を経由しての事業となる。

### (3) 後年度の財政負担

花粉発生源となるスギ人工林の伐採および植替えの加速化のため、継続的な実施が必要。

### (4) 事業主体及びその妥当性

1) 事業主体：民間事業者（森林所有者、森林組合、林業事業体等）

2) 妥当性：国「花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策実施要領」による。

# 事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

■ 新規要求事業
□ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和15年までにスギ人工林の伐採を1.4倍にする国の目標に基づき、事業実施前の令和6年度のスギ人工林伐採重点区域の伐採植替え面積から1.4倍の164haの伐採を目標とする。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R6)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	終期目標 (R15)	達成率
①スギ人工林伐採重点区域における伐採・植替え面積	117	-	117	122	164	

### ○指標を設定することができない場合の理由

### (これまでの取組内容と成果)

令和4年度	
令和5年度	
指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %	
令和6年度	
指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %	

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	第4期森林づくり基本計画の達成に向けて、次世代に向けた森林資源の確保や間伐材等の安定供給の確保に向けて、再造林等を推進することは重要であり、事業実施の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない
(評価)	

#### ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)	
------	--

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

花粉発生源となるスギ人工林の伐採・植替えを加速化するためには、県としても積極的に伐採・植替えを促していく必要がある。

### (次年度の方向性)

#### ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

スギ人工林伐採重点区域における主伐・再造林を推進し、花粉の少ない森林への転換促進を促していく。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	